

塾はどこから来たか、
塾は何ものか、
塾はどこへ行くのか
『私塾界』と共に駆け抜けた30年
—そして私

真相学外研③ 進学指導の主体が、中学校から塾に移行 業者テストに翻弄される子どもと親

この情報が広まり、この二つの塾はかえって人気が高まった。

★ テスト前にA塾の生徒のノートにぎっしり書いてあつた社会の項目が、全部試験に出た。

中学校でテスト実施前に後資料が残っている。(1992年・1/28平成3年度、エミール学院)に通う5つの中学校(府中市3、国立市2)の生徒からの報告

後学外研の月例会で発表した

1/28平成3年度、エミール学院に通う5つの中学校(府中市3、国立市2)の生徒からの報告

後学外研の月例会で発表した



学外研主催ディベート「業者テスト廃止あなたは困りますか?」を報道する「月間私塾界」1993.9月号

※偏差値に関してのぼくのコメント

★ 業者テストの問題漏えい『読売新聞』1991.8/18
「単願推薦で有利にならうと、模範解答の入手にあくせくする子供。逆に、漏れたことを知って傷つく子供。どちらも痛手を負うことになる。全ては、中学校で業者テストの偏差値に頼った進路指導を行っていることから出た問題だ」

★ 業者テストが中学校から追放されて『産経新聞』1993.7/25
「困らないという声も大半が代替テストがあるから、というでは改革にはつながらない。子供や親には、偏差値とは違った物差しの具体的なイメージがまだないのでは」

ているのだろうか?

学外研では、この年の7月、ディベート「業者テストが学校から追放され、あなたは困りますか?」を開催した。この会合こそ、学外研の神髄とも言ふふざわしいものとなつた。いろいろの立場の人々が、本音で語り合う。そしてそれをテレビや新聞各紙から発信する。次に当日の様子を『月刊私塾界』(1993.9月号)の記事で紹介しよう。

「当日は各方面からの参加者が多数駆けつけ、学士会館内の会場は開始前からすでにいっぱい、このテーマに関する人々の関心の高さがうかがえた。今日は子どもや親、学校教師にもディベートに参加してもらい、それぞれの立場から意見を発表してもらおう」ということで、困る派と困らぬ派とに分かれてディベートが始まつた。まず、毎日新聞の梁瀬氏が業者テストのあらましを述べた。(中略)約1時間の意見陳述、反論提起が続いた後、休憩をはさみ、第2部からは、一般的の参加者も加わり、業者テスト問題だけではなく教育観の問題、親の意識改革など、教育問題全体に渡り討議がなされた。(中略)様々な意見が飛び交い、建設的な意見が目立つ実りの多いディベートであった。」

さて、学外研は、業者テスト追放後の首都圏の高校入試の変化や新しい状況について概ね以下のような結論をまとめた。

① 業者テストの舞台が、中学校から学習塾及び業者設置のテスト会場に移行した。

さて、学校から追放された業者テストは首都圏で、大学や高校などに会場を移して連続と続き、今では受験生の大好きな合否判定予想ソースとして定着している。僕の塾でも中3になると年に4・5

回は受けれる。都立高校入試の情報の塊みたいなものである。

今の塾人には理解しがたいだろうが、多くの塾が恥ずべき行動をしたことがあつたことは、平成の初め頃、私立高校の推薦入試で、業者テストがはじく偏差値は、生徒を送り出す中学の先生にも、受け入れる側の高校の先生にも、全幅の信頼が置かれていった。したがつて、首都圏の大半の私立は「単願」「併願」という枠で、偏差値による推薦入試の合否基準を決めていた。業者テストはまさに私立高校の推薦入試そのものであつたといつても過言ではない。この恩恵を受けた3年生は、12月には合格が内定し、青田買いとの批判もあつたが、不思議なことにこの業者テストが公

然と学校で、しかも多くは授業中に実施され、さらに実施日が中学によって異なっていた。このため業者テストの問題漏えいが起き、それにかなりの学習塾が関与していたことが判明したのである。

情報収集力は塾の必要悪か?
ぼくが学校外教育研究会(以後学外研)の月例会で発表した資料が残っている。(1992年・1/28平成3年度、エミール学院)に通う5つの中学校(府中市3、国立市2)の生徒からの報告

★ 全ての中学校で業者テストの問題漏えいがあり、ある中学では保護者会やHRで問題となつた。

★ 国立駅そばのA塾・B塾はかなり組織的に漏えいを悪用している。すなわち生徒の通塾地域の中で、一番最初に実施された中学校の生徒が問題を覚え塾に報告、それを他の塾生徒に教える。

この情報が広まり、この二つの塾はかえって人気が高まつた。

★ テスト前にA塾の生徒のノートにぎっしり書いてあつた社会の項目が、全部試験に出た。

★ 中学校でテスト実施前に後

線である限り、違法すれすれの行為は無くならない。親たつて「藁をもつかむ」気持ちで、テスト問題の情報を手に入れたいとする

しか

題の情報を手に入れたいとする

しか

ないよう徹底した管理をする

しない。

この情報が広まり、この二つの塾はかえって人気が高まつた。

しか

題の情報を手に入れたいとする

しか